

現況報告書様式（平成29年4月1日現在）

1. 法人基本情報

(1)都道府県区分 26 京都府	(2)市町村区分 100 京都市	(3)所轄庁区分 26100	(4)法人番号 9130005013686	(5)法人区分 01 一般法人	(6)活動状況 01 運営中
(7)法人の名称 社会福祉法人ヤマト福祉会		(8)主たる事務所の住所 京都市 伏見区桃山町山ノ下66番38			
(9)主たる事務所の電話番号 075-575-5777	(10)主たる事務所のFAX番号 075-575-5775	(11)従たる事務所の有無 2 無	(12)従たる事務所の住所		
(13)法人のホームページ http://yamato-fukushi.com	(14)法人のメールアドレス info@yamato-fukushi.com/	(15)法人の設立認可年月日 平成25年11月18日			
(16)法人の設立登記年月日 平成25年11月18日					

2. 当該会計年度の初日における評議員の状況

(1)評議員の定員 4	(2)評議員の現員 4	(3-6)評議員全員の報酬等の総額(円) 250,000		
(3-1)評議員の氏名	(3-3)評議員の任期	(3-4)評議員の所轄庁からの再就職状況	(3-5)他の社会福祉法人の評議員・役員・職員との兼務状況	(3-7)前会計年度における評議員会への出席回数
(3-2)評議員の職業				
大泉達也	H29.4.1 ~ H35年度 定時評議員会の終結の時まで			0
松井陽子	H29.4.1 ~ H35年度 定時評議員会の終結の時まで			0
高平友子	H29.4.1 ~ H35年度 定時評議員会の終結の時まで			0
木村慶次	H29.4.1 ~ H35年度 定時評議員会の終結の時まで			0

3. 当該会計年度の初日における理事の状況

(1)理事の定員 6	(2)理事の現員 6	(3-12)理事全員の報酬等の総額(円) 8,000,000	2 特例無						
(3-1)理事の氏名	(3-2)理事の役職	(3-3)理事長への就任年月日	(3-4)理事の常勤・非常勤	(3-5)理事選任の評議員会議決年月日	(3-6)理事の職業	(3-7)理事の所轄庁からの再就職状況	(3-10)各理事と親族等特殊関係にある者の有無	(3-11)理事報酬等の支給形態	(3-13)前会計年度における理事会への出席回数
	(3-8)理事の任期		(3-9)理事要件の区分別該当状況						
山本富美子	1 理事長（会長等含む。） H27.11.25 ~ H29年度 定時評議員会の終結の時まで		1 常勤		1 社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	1 有			4
山本毅雄	2 業務執行理事（常務理事等含む。） H27.11.25 ~ H29年度 定時評議員会の終結の時まで		1 常勤		1 社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	1 有			4
浅田逸規	3 その他理事 H27.11.25 ~ H29年度 定時評議員会の終結の時まで		1 常勤		3 施設の管理者	2 無			4
水口美智代	3 その他理事 H27.11.25 ~ H29年度 定時評議員会の終結の時まで		2 非常勤		2 事業区域における福祉に関する実情に通じている者	2 無			4
池谷博行	3 その他理事 H29.4.1 ~ 平成29年度定時評議員会の終結の時まで		2 非常勤		1 社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	2 無			0
長谷川千夏	3 その他理事 H29.4.1 ~ 平成29年度定時評議員会の終結の時まで		2 非常勤		4 その他	2 無			0

4. 当該会計年度の初日における監事の状況

(1)監事の定員 2	(2)監事の現員 2	(3-6)監事全員の報酬等の総額(円) 100,000	
(3-1)監事の氏名	(3-2)①監事の職業	(3-2)②監事の所轄庁からの再就職状況	(3-3)監事選任の評議員会議決年月日
	(3-4)監事の任期	(3-5)監事要件の区分別該当状況	(3-7)前会計年度における理事会への出席回数
岡本光起	H27.11.25 ~ 平成29年度定時評議員会の終結の時まで	5 財務管理に識見を有する者（税理士）	平成29年6月16日 4
小林治子	H27.11.25 ~ 平成29年度定時評議員会の終結の時まで	3 社会福祉事業に識見を有する者（その他）	平成29年6月16日 2

5. 前会計年度・当会計年度における会計監査人の状況

(1-1)前会計年度の会計監査人の氏名（監査法人の場合は監査法人名）	(1-2)前会計年度の会計監査人の監査報酬額(円)	(1-3)前年度決算にかかる定時評議員会への出席の有無	(2-1)当会計年度の会計監査人の氏名（監査法人の場合は監査法人名）	(2-2)当会計年度の会計監査人の監査報酬額(円)
------------------------------------	---------------------------	-----------------------------	------------------------------------	---------------------------

6. 当該会計年度の初日における職員の状況

(1)法人本部職員の人数			
①常勤専従者の実数 2	②常勤兼務者の実数 0	③非常勤者の実数 0	
	常勤換算数 0.0	常勤換算数 0.0	
(2)施設・事業所職員の人数			
①常勤専従者の実数 37	②常勤兼務者の実数 0	③非常勤者の実数 27	
	常勤換算数 0.0	常勤換算数 15.2	

7. 前会計年度の評議員会の状況

(1)評議員会ごとの評議員会開催年月日	(2)評議員会ごとの評議員・理事・監事・会計監査人別の出席者数	(3)評議員会ごとの決議事項
---------------------	---------------------------------	----------------

評議員 理事 監事 会計監査人

(4)うち開催を省略した回数 0

8. 前会計年度の理事会の状況

(1)理事会ごとの理事会開催年月日	(2)理事会ごとの理事・監事別の出席者数		(3)理事会ごとの決議事項
	理事	監事	
平成28年5月24日	5	1	平成27年度事業報告について、平成27年度決算報告について
平成28年11月15日	5	1	平成28年度半期決算報告について、平成28年度補正予算について、定款変更について、デマンド制御装置かんてま設置工事について
平成29年1月24日	5	2	評議員選任・解任委員会運営細則について、評議員選任・解任委員の選任について、評議員推薦について
平成29年3月30日	5	1	経理規定について、平成28年度二次補正予算について、平成29年度予算について、平成29年度事業計画について、理事選任・解任について

(4)うち開催を省略した回数 0

9. 前会計年度の監事監査の状況

(1)監事監査を実施した監事の氏名	岡本光起 小林治子
(2)監査報告により求められた改善すべき事項	法人としてのキャリアパス制度、段階的な職員研修プログラムの作成。 家族を巻き込んだ利用者への支援。 さらに地域との連携を深める。とくに様々な地域貢献活動の推進。
(3)監査報告により求められた改善すべき事項に対する対応	現時点で法人としてのキャリアパスは存在するが、より精度の高い仕組みにしていきたい。 また、階層別の研修も他法人との連携を図り、実施していきます。 昨年度、家族会を設立しましたので、より一層参加される家族を巻き込み、利用者への支援へと繋がっていきます。 ももネットやふれあい食堂など地域の方より多くコミュニケーションを図り、地域のニーズを把握し、地域貢献していきます。

10. 前会計年度の会計監査の状況

(1)会計監査人による会計監査報告における意見の区分	
(2)会計監査人による監査報告書	

11. 前会計年度における事業等の概要 - (1)社会福祉事業の実施状況

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称		②事業所の名称				
		③事業所の所在地			④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	⑥事業所単位での事業開始年月日	⑦事業所単位の定員	⑧年間(4月～3月)利用者延べ総数(人/年)
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況(当該拠点区分における主たる事業(前年度の年間収益が最も多い事業)に計上)							
000	特別養護老人ホーム宝生苑	01030201	特別養護老人ホーム(地域密着型)		宝生苑				
		ア建設費	(ア)建設年月日	(イ)自己資金額(円)	(ウ)補助金額(円)	(エ)借入金額(円)	(オ)建設費合計額(円)	ウ	延べ床面積
000	特別養護老人ホーム宝生苑	02120601	認知症対応型老人共同生活援助事業		宝生苑				
		イ大規模修繕	(ア)-1修繕年月日(1回目)	(ア)-2修繕年月日(2回目)	(ア)-3修繕年月日(3回目)	(ア)-4修繕年月日(4回目)	(ア)-5修繕年月日(5回目)	(イ)	修繕費合計額(円)
000	特別養護老人ホーム宝生苑	02120501	小規模多機能型居宅介護事業		宝生苑				
		イ大規模修繕	(ア)-1修繕年月日(1回目)	(ア)-2修繕年月日(2回目)	(ア)-3修繕年月日(3回目)	(ア)-4修繕年月日(4回目)	(ア)-5修繕年月日(5回目)	(イ)	修繕費合計額(円)
000	特別養護老人ホーム宝生苑	02120402	老人短期入所施設(短期入所生活介護)		宝生苑				
		イ大規模修繕	(ア)-1修繕年月日(1回目)	(ア)-2修繕年月日(2回目)	(ア)-3修繕年月日(3回目)	(ア)-4修繕年月日(4回目)	(ア)-5修繕年月日(5回目)	(イ)	修繕費合計額(円)
000	特別養護老人ホーム宝生苑	00000001	本部経理区分		宝生苑				
		イ大規模修繕	(ア)-1修繕年月日(1回目)	(ア)-2修繕年月日(2回目)	(ア)-3修繕年月日(3回目)	(ア)-4修繕年月日(4回目)	(ア)-5修繕年月日(5回目)	(イ)	修繕費合計額(円)

11. 前会計年度における事業等の概要 - (2)公益事業

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称			②事業所の名称					
		③事業所の所在地					④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	⑥事業所単位での事業開始年月日	⑦事業所単位での定員	⑧年間(4月～3月)利用者延べ総数(人/年)
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況(当該拠点区分における主たる事業(前年度の年間収益が最も多い事業)に計上)									
		ア 建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額(円)	(ウ) 補助金額(円)	(エ) 借入金額(円)	(オ) 建設費合計額(円)	ウ 延べ床面積			
イ 大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日(1回目)	(ア) - 2 修繕年月日(2回目)	(ア) - 3 修繕年月日(3回目)	(ア) - 4 修繕年月日(4回目)	(ア) - 5 修繕年月日(5回目)	(イ) 修繕費合計額(円)					

1 1. 前会計年度における事業等の概要 - (3)収益事業

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称			②事業所の名称					
		③事業所の所在地					④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	⑥事業所単位での事業開始年月日	⑦事業所単位での定員	⑧年間(4月～3月)利用者延べ総数(人/年)
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況(当該拠点区分における主たる事業(前年度の年間収益が最も多い事業)に計上)									
		ア 建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額(円)	(ウ) 補助金額(円)	(エ) 借入金額(円)	(オ) 建設費合計額(円)	ウ 延べ床面積			
イ 大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日(1回目)	(ア) - 2 修繕年月日(2回目)	(ア) - 3 修繕年月日(3回目)	(ア) - 4 修繕年月日(4回目)	(ア) - 5 修繕年月日(5回目)	(イ) 修繕費合計額(円)					

1 1. 前会計年度における事業等の概要 - (4)備考

11-2. うち地域における公益的な取組(地域公益事業含む)(再掲)

①取組類型コード分類	②取組の名称	③取組の実施場所(区域)
	④取組内容	
子育て支援に関する事業	ふれあい食堂 おちゃっこあ 地域の子供たちに向けて、居場所や食事を無料で提供する。	特別養護老人ホーム 宝生苑 内

1 2. 社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画の策定の状況 (社会福祉充実残額算定シートを作成するまで編集することはできません)

(1) 社会福祉充実残額の総額(円)	0
(2) 社会福祉充実計画における計画額(計画期間中の総額)	
①社会福祉事業又は公益事業(社会福祉事業に類する小規模事業)(円)	0
②地域公益事業(円)	0
③公益事業(円)	0
④合計額(①+②+③)(円)	0
(3) 社会福祉充実残額の前年度の投資実績額	
①社会福祉事業又は公益事業(社会福祉事業に類する小規模事業)(円)	0
②地域公益事業(円)	0
③公益事業(円)	0
④合計額(①+②+③)(円)	0
(4) 社会福祉充実計画の実施期間	～

1 3. 透明性の確保に向けた取組状況

(1)積極的な情報公表への取組	
①任意事項の公表の有無	
㊦事業報告	1 有
㊧財産目録	1 有
㊨事業計画書	1 有
㊩第三者評価結果	2 無
㊪苦情処理結果	2 無
㊫監事監査結果	2 無
㊬附属明細書	2 無
(2)前会計年度の報酬・補助金等の公費の状況	
①事業運営に係る公費(円)	2,646,600
②施設・設備に係る公費(円)	1,747,000
③国庫補助金等特別積立金取崩累計額(円)	173,075,760
(3)福祉サービスの第三者評価の受審施設・事業所について	
施設名	直近の受審年度
特別養護老人ホーム 宝生苑	平成27年度

1 4. ガバナンスの強化・財務規律の確立に向けた取組状況

(1)会計監査人非設置法人における会計に関する専門家の活用状況	
①実施者の区分	
②実施者の氏名(法人の場合は法人名)	
③業務内容	
④費用[年額](円)	
(2)法人所轄庁からの報告徴収・検査への対応状況	
①所轄庁から求められた改善事項	<p>1. 契約について 高額な物品購入に係る契約は、原則入札となるが、やむを得ず随意契約を行う場合は、合理的な理由を明らかにした上で、理事会及び評議員会において十分審議する事。</p> <p>2. 療養食加算について 療養食加算については、入所者の病状等に応じて、主治の医師より入所者に対し疾患治療の直接手段として発行された食事箋に基づき、療養食を提供した場合に加算を算定できるが、食事箋に記載された基準を満たさない療養食を提供している事例があることを確認したので、早急に改善を図ること。については、平成26年12月まで遡り自主点検を行い、</p>

誤って請求した介護報酬については自主的に返還するとともに、利用者の自己負担分についても返還すること。

②実施した改善内容

1. 契約について
 次回、理事会で再度経理規程（特に第12章の契約の箇所）を周知し、失念しないよう対策を図る。また、高額な物品購入に係る契約については、入札を行い、やむを得ない場合のみ随意契約を実施し、その上で理事会にて審議する。

2. 療養食加算について
 本来1日単位で塩分6g以下の食事を管理しなければならないところを1週間単位で包括管理していたために、6gを超えて提供した日があったため、委託会社の栄養士及び当法人の栄養士共に療養食加算取得の場合は塩分1日6g以下の提供で周知いたしました。
 平成26年12月～平成28年1月末までの自主点検を実施し、誤って請求した介護報酬については自主返還を行い、それに併せ、利用者の自己負担分についても返還を行います。

15. その他

退職手当制度の加入状況等（複数回答可）

① 社会福祉施設職員等退職手当共済制度（(独)福祉医療機構）に加入	
② 中小企業退職金共済制度（(独)勤労者退職金共済機構）に加入	
③ 特定退職金共済制度（商工会議所）に加入	
④ 都道府県社会福祉協議会や都道府県民間社会福祉事業職員共済会等が行う民間の社会福祉事業・施設の職員を対象とした退職手当制度に加入	
⑤ その他の退職手当制度に加入（具体的に：●●●）	
⑥ 法人独自で退職手当制度を整備	
⑦ 退職手当制度には加入せず、退職給付引当金の積立も行っていない	